

I 普及奨励に移すべき事項

1 植物調節剤・ベンジル・アミノプリンによるりんごのわい性苗木および高接1年枝の側枝発生促進

果樹部

(1) 背景とねらい

りんごわい性苗木の植付けに際しては、側枝の少ない苗木が多く、育苗時や植付け後の側枝発生に効果的な手法が必要である。

また、普通樹の高接による品種更新の場合は、接穂の新梢から側枝を発生させ、成り枝の増加や結実促進をはかることが必要である。

以上のような、側枝発生を促進させる手段として植物調節剤・ベンジル・アミノプリン（商品名・ビーエー乳剤; 6-(γ -ベンジル)アミノプリン 3.0%)の利用試験を進め、効果が認められていたが、昭和58年5月に農薬登録が認可されたので、普及奨励に供する。

(2) 技術の内容

使用目的	使用時期	使用方法 (薬剤名・濃度等)
苗木側枝 (フェガー)発生 促進	接木当年苗 新梢50cm以上伸 長時(7月末ま で) 接木2~3年苗 主幹延長枝30cm 以上伸長時 (6月中~下旬)	ふじ、千秋、ジョナ ゴールド、王林など ビーエー乳剤100倍 つがる ビーエー乳剤50倍 地上50cm以上の側枝 の欲しい位置の葉の 表裏へ十分散布する。
高接1年 枝の側枝 発生促進	接穂の新梢が30 ~50cm伸びた伸長 旺盛時に散布する。 (6月上~7月上 旬)	ふじ、王林など ビーエー乳剤100倍 つがる ビーエー乳剤50倍 接穂の新梢全体に散 布する。

(3) 指導上の留意事項

1) 調製した薬液はその日のうちに使いきる。

2) 展着剤は不要。

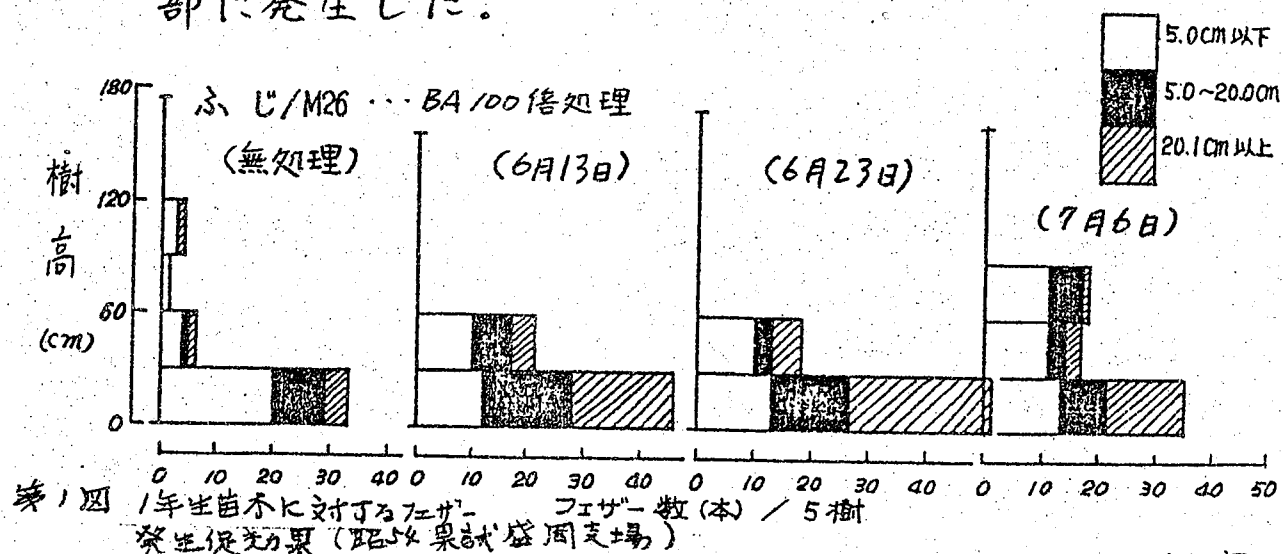
(1)

- 3) 樹勢が弱い場合は側枝が発生しにくい。
 - 4) 高接の場合、新梢の長さを確保するため、接木は早めに行う。なお、ビーエー乳剤と摘心を併用すると効果が高い。
 - 5) 葉の無い芽には効果が期待できない。
- (4) 当該事項にかかる試験研究課題名
植物調節剤利用による省力化(昭和55~57年)
- (5) 参考資料

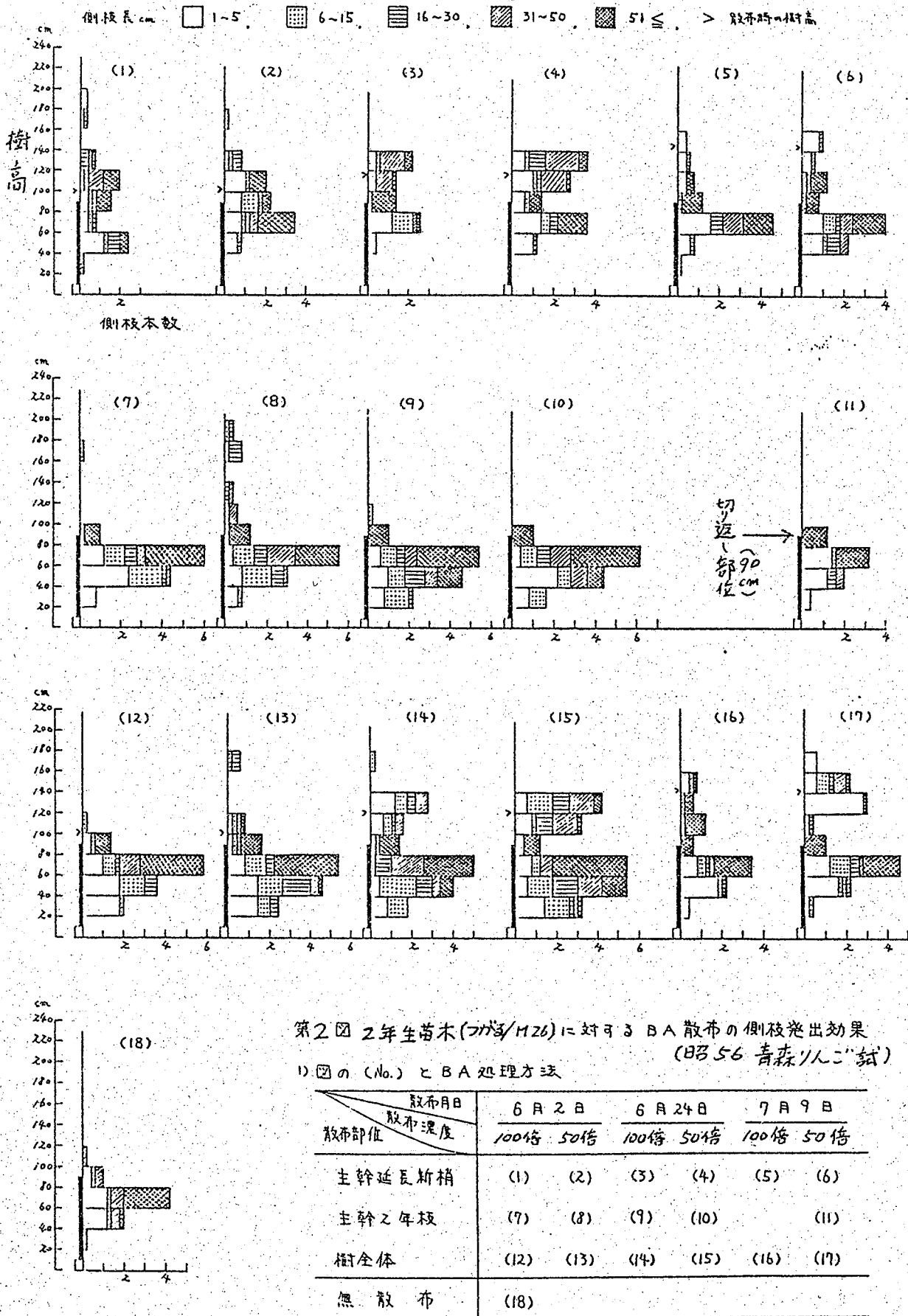
- 1) 昭和52~56年度
リンゴ用除草剤、生育調節剤試験成績集録
- 2) 昭和55~57年度
岩手県園芸試験場果樹部成績書
- 3) 昭和54・56年度
寒冷地果樹に対する試験研究打合せ会議資料

(6) 試験成績の概要

- 1) 1年生苗木に対するフェザー発生促進効果
 - (1) ビーエー乳剤処理により、6月中旬(30cm時)、6月下旬(50cm時)、7月上旬(70cm時)のいずれでも側枝の発生が促進された。
 - (2) 側枝の発生部位は、7月上旬処理で、他より上部に発生した。



- 2) つがる2年生苗木に対するフェザー発生促進効果
 - (1) 主幹2年枝に散布した場合は6月上、下旬とも同数で、無処理と7月上旬処理より多かった。
 - (2) 主幹全体に散布した場合は、6月下旬(主幹延長枝30cm伸長時)の処理で最も多く発生した。
 - (3) 濃度は、100倍より50倍の処理で、フェザーが多く発生した。 (2)



2) 図はいずれも5樹の平均値を基に描いた。

3) 高接当年枝に対するビーエー乳剤のフェザー発生促進効果

- (1) ビーエー乳剤の処理により側枝の発生が増加した。
- (2) ふじでは、50倍100倍で、効果にはほとんど差がなかった。
- (3) つがるは、ふじより側枝が発生しにくかった。
- (4) 単用処理より、摘心を併用した方が効果が高かった。
- (5) 7月中・下旬より上旬の処理で効果が高かった。

第1表 ビーエー乳剤の高接当年枝に対する効果
(昭56岩手園試)

処理区	ふ じ							つ が る						
	供試 本数	側枝発生本数		平均 側枝 長 (cm)	平均新梢長		摘 芯 後の 伸長 量(cm)	供試 本数	側枝発生本数		平 均 側枝長 (cm)	平均新梢長		摘芯後 の伸長 量(cm)
		1 枝 当 り	20 芽 当 り		処理時	調査時			1 枝 当 り	20 芽 当 り		処理時	調査時	
BA600ppm ^{7/} _上 (50倍)	10	8.2	4.5	8.8	49.9	104.8		10	0.5	0.4	1.6	39.0	77.3	
^{7/} _中	10	1.8	1.2	3.3	46.7	78.0		10	0.1	0.1	1.0	52.4	87.1	
^{7/} _下	10	0.8	0.5	2.2	49.0	74.1		10	0	0	0	47.3	60.0	
BA600ppm ^{7/} _上 (50倍) + ^{7/} _中	9	6.2	9.5	16.8	46.2		48.9	10	2.1	4.1	10.1	42.1		40.4
摘 芯 ^{7/} _中	10	3.3	4.2	3.6	54.2		29.7	10	0.5	0.7	3.1	55.1		27.9
^{7/} _下	10	5.0	5.5	3.4	48.2		18.6	9	0.1	0.2	1.0	43.3		17.3
BA300ppm ^{7/} _上 (100倍) + ^{7/} _中	10	5.3	8.9	11.8	39.1		40.4							
摘 芯 ^{7/} _中	10	5.0	6.1	2.8	49.9		22.2							
^{7/} _下	10	0.8	0.9	14.0	52.1		21.8							
摘 芯 ^{7/} _上	10	0.6	1.0	5.9	46.2		38.1	5	0	0	0	45.0		38.2
^{7/} _中	10	0.7	0.9	16.4	51.3		35.0	5	0.2	0.1	1.5	51.1		28.7
^{7/} _下	9	0.6	0.6	10.3	59.2		25.1	5	0	0	0	38.8		16.1
無処理 ^{7/} _上	5	0	0	0	42.3	83.4		4	0	0	0	38.0	73.4	
^{7/} _中	5	0	0	0	48.7	110.6		5	0	0	0	57.0	92.1	
^{7/} _下	5	0	0	0	50.3	105.2		5	0	0	0	40.6	53.7	

- ・ ふじ・つがるをレッドスパー/マルバ(8年生)に4月23.24日高接
 - ・ 処理時期は7月上旬(8日) 中旬(17日) 下旬(28日)
- (4)